雷

日本人の心の

あり方について考える

塾(法相宗大本山薬師寺、読売新

聞社主催)が2月10日、東京・日 本橋の三越劇場で開かれた。塾長 を務める加藤朝胤・薬師寺管主

の法話や、茶の湯と仏教に通じる 精神を説く茶道武者小路千家第15 代家元後嗣の千宗屋さん(49) の講演に、約500人が聴

き入った。

薬師寺まほろば塾」の東京

亲斤

まほろは塾

华中寺

图图

第 59 回薬師寺まほろば塾 東京塾 令和7年2月10 日(月)開催

第15代家元後嗣茶道武者小路千家 電車に乗り、1人でお寺を回ドン」はランドセルを置いて 好胤管主はスーパーの度も足を運びま るほどでした。 な、一風変わった子どもでし幼少期から神社仏閣が好き 薬師寺さんにも 千宗屋さん

家としても、寺の大事な法要密なご縁をいただきました。

でお献茶を務めさせていたださ、長いご縁があります。 き、長いご縁があります。 き、長いご縁があります。 き、長いご縁があります。 たいこれがあります。 でお献茶を務めさせていただ を丁寧に、真心を尽くして行けです。しかし、その一つ一つ茶をたてて飲む、ただそれだ に言うと、お湯を沸かしてお

せん・そうおく 1975年、京都 市生まれ。茶道武者小路千家15代 家元後嗣。慶応義塾大大学院修了。 同大学院特任教授、明治学院大非 常勤講師も務める。著書に「茶 利 休と今をつなぐ」「茶のある暮らし 千宗屋のインスタ歳時記」など。

利 休 の心

す。当時の再現ではなく、あた釜、茶碗、道具類を使いまは、利休さんがお使いになっ

歴史的な物事が入り込んでいる。過去と今がつながり、未来へと続く。それが茶の湯の非常に尊いところだと思います。 く、脈々と進行形で続く中に、 過去を振り返るのではな

です。 くまで今の行いの延長として を無事につなぎ、伝統を次のを無事につなぎ、伝統を次のいる。古い年と新しい年をかける。古い年と新しい年の流に、 旧年の釜の湯をいっぺん全初の水を井戸でくみます。

のです。 年に守り伝えることの象徴な

しそのもの、生きることの象も一年中行っていました。いも一年中行っていました。いちかの火を保つことは、暮ら

世界中を見渡しても、日本のお茶くらいしかないのです。私の先祖、茶の湯を大成させた千利休がお茶を楽しんだせないのです。大孩させた千利休がお茶を楽しんだけから、お茶の根本はそう変いから、お茶の根本はそう変 ります。そのような文化は、 に茶の湯の面白みや魅力があ 芸術として高められたところ さいうことが洗練され、文化 あります。単に「茶を飲む」 「日常茶飯」という言葉が うことが茶の湯の基本です。 工夫重ね息づ

新年初めてのお茶会を初釜 の意味で新年最初に釜をかけるのは、元旦に行う「大福茶」 です。家元が家族や内弟子の前で、新たな年の最初に全をかける。 「相茶のため、厳粛に行う」 準備があります。「埋み火」と 言って、大みそかの夜に炉中の炭に灰をかけ、炭火が消えないように保ち年を越しまない。 す。そして「若水汲み」、新年最

と元旦に残ったのではないで茶家の習慣として、大みそか徴であったはずです。それが

る「法燈(法灯)をつなぐ」といる「法燈(法灯)をつなぐ」という闇を照らす燈明)にたとえ、教えを守り伝える「法燈(と言い表しまい)にたとえ、教えを受け継ぐ明)にたとれる「法燈」と言い表しました。 統」という表記になった、といえて「統」の字が当てられ、「伝う言葉もあります。「燈」に代 いう闇を照らす燈明(は仏教では、仏の教えを迷り

も、お茶にとって う説もあります。 火を伝えること

にもつながります を断つと火は消えてしまう。 との象徴です。そこに注ぐ油も、伝燈を継ぐこ 油を断つのが一番の敵という 「油断大敵」の言葉

していくことが、「油を継ぐ」がどうあるべきかを常々工夫がどうあるべきかを常々工夫 ことのために大事だと考えて たな心や気持ち、 伝燈にあぐらをかかず、 解釈を取り

います。

武天皇は亡くなりました。しました。しかし6年後、天気平癒を願って建立を発願 持統天皇はその前で手を合 三尊像が開眼されました。 させ、7月29日、本尊の薬師 継いで697年に寺を完成即位した持統天皇が遺志を 天皇が皇后の持統天皇の病 0年、天武

申し上げているの は「日本書紀」に わせたのです。 日付をはっきり 持統天皇の思

棄師寺 東京まほろば塾

薬師寺だけだと思います。 これは 師三尊像は、当時の姿のま 天皇が開眼をやりとげた薬 書いてあるからです。

と太政大臣に任命し、弟と自分の子に後を継がせたい 皇が、弟の大海人皇子、のせようと取り組んだ天智天 代、中央集権国家を根付かいてお話しします。飛鳥時 ちの天武天皇を皇太子に指 天武天皇の国づくりにつ しました。ですがその後、

法要 健康願う

の仲が悪くなります。 大海人皇子は出家して吉

「般ニャ心経」「唯識これだけは知りたい」など。管主を務める。著書に「ブッダの言葉エッセイ」日本大法学部、龍谷大文学部卒。2019年から日本大法学部、龍谷大文学部卒。2019年からかとう・ちょういん 1949年、愛知県生まかとう・ちょういん 1949年、愛知県生ま

文は栢野ななせ、写真は米山要が担当しました。

がたいです。

、参加者も一緒に般若心経を唱えた。

軸と、吉祥天女像(同)の模写がまつられた寺の本尊・薬師如来像(国宝)を写した掛け寺の本尊・薬師如来像(国宝)を写した掛け法話と講演に先立ち、新年を迎えた参加法話と講演に先立ち、新年を迎えた参加

天智天皇の死後、

言葉が出るのはこれが最初す。「日本書紀」に写経の寺で一切経の写経を始めま す。戦いに勝った大海人皇に「至前の乱」へ発展しまに「至前の乱」へ発展しまい。672年野に送らせないといった不野に送らせないといった不 し、673年に飛鳥の川原子は天武天皇として即位 Q

食料を吉 経勧進を始めました。 経勧進を始めました。 薬師寺の高田好胤・元管

師三尊像は残り、約70年後年に戦乱で焼けました。薬 て薬師寺へ来た時は、 に仮のお堂ができたもの 薬師寺の金堂は1528 天初井め

年。今では金堂などの伽藍ただきました。それから57に初めてお写経を納めてい ど傷んでいました。 東京の別院もできました。だけでなく、お写経道場や 最初は誰もお写経を知り

協賛しています(順不同)薬師寺まほろば塾に

天武天皇は壬申の乱で亡 幸せを願って、 写経を始めたと

想像

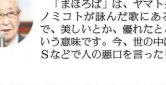
思いで見る これで は国本せを願って建てられ 民の幸せを願って建てられ 民の幸せを願って建てられ の祈りをもらって伽藍を復写経勧進も「多くの人たち思います。高田元管主のお 合わせていただければあり想像し、薬師三尊像に手を られています。 興したい」との思いが込め 思いで開眼に臨まれたかを

薬師寺管主加藤朝胤塾長

老川祥一・読売新聞グループ本

社会長あいさつ 「まほろば」は、ヤマトタケル ミコトが詠んだ歌にある言葉 で、美しいとか、優れたところと

殺に追い込んだりと、精神の荒廃 が進んでいます。人と人との対話 からはぬくもりや優しさが生まれ ます。対面で言葉を交わすことが ますます大事になっています。今 日のお話を、心の支えに役立てて



ウォールト・/ クオールト・/ はせがわ 出日合同事務所

*次回東京塾 6月20日午後1時から、東京・日本橋の三越劇場で。解剖学者の養老孟司さんが講演する。参加費2000円(薬師寺まほろば塾推進の会員は無料)。 ※会員募集 「薬師寺まほろば塾推進の会」は会員を募集している。年会費(1日)は

個人6000円、法人30万円。特典はまほ ろば塾の原則無料参加など。

*出張講座 ※出張調座 薬師寺まほろば塾は、大阪、神戸、 和歌山で「法話とお写経の会」を開催している。同寺僧侶による法話の後、写経に取り組む。参加費2000円(推進の会会員は無料)で、写経は納経料2000円。法話のみの参加も可能。日期は以下の海の、飛ばせばた後1時 程は以下の通り。受け付けは午後1時

【大阪】読売大阪ビル地下1階「ギ

ャラリーよみうり」(大阪市北区)▽ 6月6日

【神戸】よみうり神戸ホール(神戸市中央区)▽6月11日 【和歌山】和歌山県民文化会館(和歌山市)▽3月18日、7月16日、11月

◆ 推進の会、法話とお写経の会の問い 合わせは、事務局(0742・33・8942)。



6月25日午後1時から、東京・日本

いう意味です。今、世の中はSN Sなどで人の悪口を言ったり、自 いただければと思います。 フュールホールディングス 新コスモス電機 新コスモス電機 東海旅客鉄道トヨタ自動車 〈中部〉 大阪シティ信用金庫パナソニックホールディングス 近鉄百貨店 ルディングス